

事務事業説明シート

事業No. 6

①事務事業名	老人クラブ活動費助成事業								
②所管課	健康福祉部 高齢者総合支援課								
③ 施策の背景	事業の背景・目的	豊かな知識と経験を活かし、仲間づくりや生きがいづくりのために、地域社会に参加するきっかけとなる諸活動を支援する。							
	受益者	各校区で活動する高齢者（主に60歳以上）							
	目標 <small>(アウトカム目標)</small>	目 標	社会奉仕活動人数 51,000人 / 年				達成期限	—	
	計画	後期実行計画		×	まち・ひと・しごと創生総合戦略			×	
④ 事業説明	事業の概要	高齢者の社会参加・生きがい対策を推進する宇部市老人クラブ連合会の活動を支援するため、助成金を交付する。							
	事業内容 <small>(具体的な手段・手法・業務)</small>	<p>各校区における高齢者の活動実態に即して、助成金を交付する。 (対象事業)</p> <p>1 健康づくり・介護予防活動 ・各種大会、高齢者学級活動、健康用具などの購入</p> <p>2 いきがいづくり活動 ・クラブ・部会活動</p> <p>3 地域リーダー養成 ・指導者養成</p> <p>4 地域見守り・支え合い活動 ・社会奉仕活動（常盤公園清掃等）</p> <p>5 情報発信 ・会報作成</p>							
⑤ 投入資源	事業費・人件費	事業費				人的資源（参考：正規職員1人/年≒804万円/年）			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		8,520千円	8,911千円	8,652千円	8,573千円	正規0.2人/年	正規0.2人/年	正規0.2人/年	正規0.2人/年
⑥ 事業効果	アウトプット <small>(活動実績)：事業の実績を定量的に把握</small>	アウトプット（活動実績）				アウトカム（活動成果）			
		指標：単位クラブ数				指標：社会奉仕活動人数			
	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	
	116クラブ 4,237人	109クラブ 3,800人	94クラブ 3,139人	90クラブ 3,000人	35,288人/年	37,102人/年	28,888人/年	30,000人/年	
アウトカム <small>(活動成果)：事業によりもたらされる効果を定量的に把握</small>									

⑦ 自己点検結果	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
	A-1.事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか	A-2.民間団体等にゆだねることができないか (○:行政が行うべき、△:一部民間、×:民間で行うべき)	A-3.背景・目的・目標の達成手段として必要かつ適切な事業か	B-1.事業内容は背景・目的に即したものであるか	B-2.活動実績は活動成果に大きく貢献するものとなっているか	B-3.活動成果は目標達成に向け、計画どおり推移しているか	C-1.投入資源に見合ったアウトプットを生み出しているか	C-2.事業手法について、考えられる他の手法より、高効率または低コストか	C-3.その他、コスト削減や効率化に向けて適切に取り組んでいるか
	A-1 △	A-2 ○	A-3 ○	B-1 △	B-2 △	B-3 △	C-1 △	C-2 △	C-3 ○
	評価基準								
	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
	A-1 ○ 十分できている △ 一部できている × (あまり) できていない — 事業に該当しない評価項目 A-2 ○ 行政が行うべき事業である △ 一部民間にゆだねることができる × (基本的に) 民間にゆだねることができる A-3 ○ 必要かつ適切な業務である △ 必要ではあるが、事業の代替を検討すべき × 必ずしも必要とはいえない — 事業に該当しない評価項目			B-1 ○ 十分即している △ 一部即している × (あまり) 即していない — 事業に該当しない評価項目 B-2 ○ 実績は成果に大きく貢献する △ 貢献する × 若干貢献する、または(あまり)貢献しない — 事業に該当しない評価項目 B-3 ○ 計画どおり(計画値の100%以上) △ ほぼ計画どおり(計画値の80%~99%) × 計画どおりとは言えない(計画値の80%未満) — 事業に該当しない評価項目			C-1 ○ コストパフォーマンスは高い △ コストパフォーマンスは若干低い × コストパフォーマンスが低い — 事業に該当しない評価項目 C-2 ○ 他の手法より、高効率・低コスト(たぶん)高効率・低コスト × 高効率・低コストと言えない — 事業に該当しない評価項目 C-3 ○ 定期的にコスト削減・効率化に取り組んでいる △ 過去に取り組んだことがある × 取り組んだことはない		
	見直しの方向性		より効率的・効果的な事業実施を目指して継続						
	⑧ これからの見直し 老人クラブ連合会のこれまでの活動に加え、健幸長寿を目指し、誰もが生涯現役で住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう「健幸づくりサポーター活動」に取り組む。 老人クラブ連合会は、健康づくりの活動に取り組むことで、健幸長寿に興味のある高齢者の加入促進を図る。 身近に健幸づくりサポーターが増加し、その活動により市民が健康を意識する機会が増えることで、健康に興味のなかった無関心層に興味を持たせ、多くの人々が健康づくり活動に参加することで、健幸長寿のまちづくりを目指す。								